

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

当財団は、北陸先端科学技術大学院大学の教育研究並びに同大学と産業界、学術関係機関及び地方公共団体等との交流の支援を図り、もって創造的な科学技術の発展に資する人材の育成及び研究開発基盤の充実に寄与することを目的に、3部門の公益目的事業を実施しました。

<事業部門>

I 公益目的事業1

北陸先端科学技術大学院大学の教育研究に対する助成事業及び選考委員会の開催

1 調査研究助成 27件 16,600千円

大学の若手研究者が行う調査研究並びに先端的研究拠点の実現・研究の国際化の推進に挑戦する研究グループに対し助成をしました。

- ・研究拠点形成支援事業 先端研究拠点形成支援 5件 5,000千円
 - (1) フィジカルAIデザイン国際研究拠点
(創造社会デザイン研究領域・准教授 謝 浩然)
 - (2) 技術・サービス経営に関する次世代リカレント研究・教育拠点の形成
(トランスフォーマティブ知識経営研究領域・教授 内平 直志)
 - (3) データ駆動型意思決定のための最適化および知識融合に関する研究
(共創インテリジェンス研究領域・教授 ヒュン ヤン ナム)
 - (4) JAISTータイサイエンスハブ：次世代生成AIコラボレーション
(人間情報学研究領域・講師 ケート・キヤートカチョン ナックウット)
 - (5) JAIST-ASEANディープフェイク音声検出ハブ
(人間情報学研究領域・助教 ケンディ オリビア マリム)
- ・研究拠点形成支援事業 萌芽的研究支援 12件 6,600千円
 - (1) 目的指向知識構造化を支援する対話システムの提案
(トランスフォーマティブ知識経営研究領域・講師 伊集院 幸輝)
 - (2) 競争市場におけるプラットフォームビジネスの成功：ライドヘイリング・プラットフォームUber, Careem, InDriveの比較研究
(トランスフォーマティブ知識経営研究領域・講師 ジャヴィット アムナ)
 - (3) 条件付きいやがらせ行動の進化に関する理論的研究
(共創インテリジェンス研究領域・助教 黒川 瞬)
 - (4) 意思決定のための知識融合手法に関する研究
(共創インテリジェンス研究領域・助教 ケン モウ トソン)
 - (5) ディラック記法に基づく量子回路の等価性判定
(コンピューティング科学研究領域・助教 トー シン カン)
 - (6) 埋め込みだけで知識ベースは完成するのか？論理学者の洞察による解説
(コンピューティング科学研究領域・講師 ラチャク テーラデチ)

- (7) 光無線通信における波長分割多重 (WDM) 伝送用新蛍光アンテナの開発
(次世代デジタル社会基盤研究領域・助教 ホ ツウエイ)
- (8) 周期的行動パターンを考慮した電力系統のエネルギーバランス
(次世代デジタル社会基盤研究領域・助教 ジャウヰット サル)
- (9) ロバストな非英語音声スプーフィング検出法
(人間情報学研究領域・助教 マリム ケンディ オリビア)
- (10) Konjac Glucomannan を基盤とした柔軟なセンサー付き医療トレーニングモデル
の持続可能な解決策
(人間情報学研究領域・助教 ゲン フー ナ)
- (11) 多重外場応答性金属錯体を用いたデバイス応用可能なイオン伝導度スイッチン
グの開拓
(物質化学フロンティア研究領域・助教 青木 健太郎)
- (12) シリコン/窒素ドーパカーボンを用いたリチウムイオン二次電池用高エネルギー
密度負極の開発
(物質化学フロンティア研究領域・助教 マトリプ ラカダ バラト リ ミラ)

・教育研究環境整備助成「優秀学生獲得奨励事業」 10件 5,000千円
独自に積極的な学生募集活動を展開し、意欲の高い優秀な博士前期課程入学者を獲
得した教員に対し、研究室の環境整備費や教育研究活動経費を助成しました。

- (1) 創造社会デザイン研究領域 准教授 クリ ジャハット
- (2) 共創インテリジェンス研究領域 教授 橋本 敬
- (3) 次世代デジタル社会基盤研究領域 教授 青木 利晃
- (4) 人間情報学研究領域 教授 鵜木 祐史
- (5) 人間情報学研究領域 講師 ケートキャットカチョン ナッタウト
- (6) 物質化学フロンティア研究領域 教授 谷池 俊明
- (7) 創造社会デザイン研究領域 准教授 謝 浩然
- (8) 創造社会デザイン研究領域 准教授 謝 浩然
- (9) 物質化学フロンティア研究領域 教授 栗澤 元一
- (10) 物質化学フロンティア研究領域 准教授 上田 純平

2 学生研究奨励金 40件 5,839千円

大学の研究科(博士後期課程)の学生のうち、優れた研究活動を行う学生に対し、
研究奨励経費の助成をしました。

- (1) ベンチャー企業、アントレプレナーに対する支援・育成のためのファイナンス
の多様化と日本のイノベーション・システムの関係性の研究
(小林 稔：知識科学系)
- (2) 医療サービス分野における患者満足度向上を目指したシミュレーション基盤の多
目的最適化戦略に関する研究
(ケガムナート ニッヤー：知識科学系)
- (3) ① 日本のコンピュータグラフィックス(CG)エンターテインメント産業における教
育と実践のギャップを橋渡しすることに焦点を当て、特に多様性と進化する認識
に注目する
② リバーズエンジニアリング手法を用いた視覚伝達能力向上を目指したCG教育
の新たなアプローチの提案を行う
(松永 治空：知識科学系)

- (4) 研究の着眼はシャーマンの儀式における宗教的イメージが参加者の感情、信念、そして意識状態に与える影響に焦点を当てています
(ソ コウ：知識科学系)
- (5) 異端者型天才への接し方—イノベーションに導く「共感者」の特徴は何か？—
(安田 剛規：知識科学系)
- (6) 組織の越境による価値共創資源の創出：副業経験者の事例分析
(塚原 美樹：知識科学系)
- (7) 博士の就職におけるマッチング成功：残酷な楽観主義とキャリア形成を中心とした解釈現象学の研究
(ユ チェンソイ：知識科学系)
- (8) 高齢者観光におけるデジタル技術駆動型サービスデザインについての研究
(リュウ ウチ：知識科学系)
- (9) 拡散モデルをベースにしたファッション生成
(チョウ エイメイ：知識科学系)
- (10) 成人および高齢者における身体活動および座位行動のプロファイルと健康関連QOLとの関連性
(ラ ギョクホウ：知識科学系)
- (11) 非単純化順序を用いた定理自動証明の基礎理論
(齊藤 哲平：情報科学系)
- (12) 複数の解釈をもつ文に対する埋め込み表現の学習
(小田 康平：情報科学系)
- (13) マルチモーダル分析のための因果交差性と勾配降下法の二重形式：憎悪ミームによる事例研究
(宮西 洋輔：情報科学系)
- (14) 対話感情認識
(セツ ケツイン：情報科学系)
- (15) 中国における鉄道ネットワークの変化と縮小する都市の発展：空間および人口動態の観点からの多次元分析(2000–2020)
(リ シヤ：情報科学系)
- (16) ドローン用の変形可能なモーター駆動プロペラの衝突ダイナミクス
(ファム ティエン フン：マテリアルサイエンス系)
- (17) 高分子の流動誘起結晶化に関する研究
(ジャンチャイ クナンヤ：マテリアルサイエンス系)
- (18) ConTac：ビジョンベースの形状センシングと接触認識マニピュレーションを備えたコンティニュームエミュレートソフトスキニング
(グエン トリアン タイ：マテリアルサイエンス系)
- (19) ペロブスカイト酸化物系ナノ粒子を構成要素として用いた完全環境調和型熱電材料の開発
(モア サイモン デビッド：マテリアルサイエンス系)
- (20) SERSとDFTを用いた希土類元素イオン—クエン酸錯体の研究
(キン コウ：マテリアルサイエンス系)
- (21) L バンドおよびC バンドSAR データを用いた珠洲市の地表変形のDInSAR 解析
(ヨウ イツハシ：知識科学系)
- (22) UMCap：パーソナライズド画像記述のためのユーザーメモリ拡張手法
(グエン ダン マン：知識科学系)

- (23) ベトナムのホスピタリティ業界における感情分析とコールドスタートレコメン
デーションのための包括的フレームワーク
(チャン スン タン：知識科学系)
- (24) 大連大学生の春節民俗に対する態度に関する研究
(カ リホ：知識科学系)
- (25) 防災のための連鎖効果のリスク分析： 火山性津波の事例
(ジュアナ エルモ：知識科学系)
- (26) 観客の存在が圧力とランニングパフォーマンスに与える影響：AR による存在の
可能性
(コウ シン：知識科学系)
- (27) 研究支援アシスタントインタフェース： 複数の学術論文からの研究トピックの
知識概要の自動生成
(リ ジンホ：情報科学系)
- (28) 無人航空機向け 3D アクティブ セマンティック同時位置推定およびマッピング
システム
(ゲン カン タン：情報科学系)
- (29) オープンドメイン質問応答 (ODQA) における大規模言語モデル (LLM) 性能の、
解答接頭辞生成 (ANSPRE) 手法による向上、解答精度の改善、信頼性の高い信頼
スコアの提供
(レ カン ゲン：情報科学系)
- (30) 剛体フレームと粘弾性要素を結合した環境適応性胴体を持つ四脚ロボットの設
計と開発
(コウ ウン：情報科学系)
- (31) 大規模言語モデルのサイバーセキュリティ特化のためのドメイン適応事前学習
フレームワーク
(マイ トロン カン：情報科学系)
- (32) リムレスホイールモデルに基づく水中ロボットの脚部運動の解釈
(カ ゲツウ：情報科学系)
- (33) 成形加工後の処理操作における結晶性高分子の高性能化
(福田 雄太：マテリアルサイエンス系)
- (34) ハイブリッド材料に基づく垂直型スピン電界効果トランジスタ (VSFET)
(ファム トゥアン ヴァン：マテリアルサイエンス系)
- (35) バイオマス由来イソソルビドポリカーボネートのレオロジー特性の改良
(カン スベ：マテリアルサイエンス系)
- (36) 分子線エピタキシー法による GaAs (111)B 基板上への MnSb/InSb ハイブリッ
ド構造の成長と特性評価およびそのスピndeバイスへの応用
(カビール エムディ フェイサル：マテリアルサイエンス系)
- (37) ポア形成により高耐熱樹脂ポリベンズイミダゾールフィルムの機械特性の向上
(シェウ カバイ：マテリアルサイエンス系)
- (38) グラデーション構造を備えた高性能ゴムの材料設計
(ドゥ ビエット クオック：マテリアルサイエンス系)
- (39) サクランの複合化による機能性化学繊維の開発と評価
(美谷 千鶴：マテリアルサイエンス系)
- (40) 軸不斉を有する小分子の、ポリフルオレン系のエレクトロルミネッセンス高分
子キラリティーの誘導
(エン チェン：マテリアルサイエンス系)

3 選考委員会の開催

前記助成事業に対する選考委員会（選考委員5名による書面選考）を9月、11月及び1月に行いました。

II 公益目的事業2

企業と大学との共同研究助成事業及び産学官交流事業

1 共同研究の実施に対する助成 8件 3,400千円

民間企業が北陸先端科学技術大学院大学と共同で行う先端科学技術分野に関する研究に対し、その研究費の一部を助成しました。

- (1) 迅速簡便遺伝子センサーの開発
(株) バイオデバイステクノロジー／高村 禪：先端科学技術研究科教授)
- (2) シリコン系材料を活用した2次電池に関する評価
(テックワン(株)／松見 紀佳：先端科学技術研究科教授)
- (3) 建材やスマートホーム機器へのECHO.NET Lite 活用技術構築
(三協立山(株)／丹 康雄：先端科学技術研究科教授)
- (4) 液体電極プラズマを活用した自動元素分析システムの実用化
(株) マイクロエミッション／高村 禪：先端科学技術研究科教授)
- (5) 等温増幅法や電気化学的手法を用いたセンシングデバイスの開発
(BioSeeds(株)／高村 禪：先端科学技術研究科教授)
- (6) ロボットOS開発技術に関する研究
(澁谷工業(株)／丹 康雄：先端科学技術研究科教授)
- (7) 金属箔由来の金属微粒子の作製および導電性材料への応用
(金沢箔技術振興研究所／村田 英幸：北陸先端科学技術教授)
- (8) 病原性微生物・ウイルス等の新規現場検出法に関する研究
(BioSeeds(株)／高木 昌宏：先端科学技術研究科准教授)

2 北陸先端科学技術大学院大学未来創造イノベーション推進本部デジタル化支援センター助成 14,404千円

企業等のデジタル化に関する様々な課題解決のため、大学が設置するデジタル化支援センターの専任教員に対する人件費を助成しました。

3 技術指導・相談の実施に対する助成 1件 50千円

大学の「技術・サービス制度」を利用する企業等に対する経費の一部を助成しました。

- ・技術サービスの内容 リアクティブイオンエッチング装置(RIE)による測定に関する指導・助言
- ・技術サービス利用団体 北陸電気工業(株)
- ・技術サービス担当職員 高村 禪：先端科学技術研究科教授

4 産学官交流の連携協力等 5, 7 2 2 千円

(1) 産学官交流推進事業 (4, 996 千円)

イベント名 : 北陸発の産学官金連携マッチングイベント

「Matching HUB HOKURIKU 2024」※今回で11回目

メインテーマ : 北陸地域の活性化を目指した新産業創出と人材育成

開催日 : 令和6年11月12日(火)・11月13日(水)

場所 : ANAクラウンプラザホテル金沢

主催団体等 : 北陸先端科学技術大学院大学未来創造イノベーション推進本部
公益財団法人 北陸先端科学技術大学院大学支援財団、
国立研究開発法人 産業技術総合研究所中部センター、
一般社団法人 JAIST 支援機構 ほか

参加人数 : 延べ 1, 7 5 7 名 (2日間)

事業内容

① 講演

特別講演: パネルディスカッション共通テーマ

「Begin the Future～未来へ向けて新しいチャレンジ～」

講師: オイシックス・ラ・大地(株) 高島 宏平氏

講師: 北陸先端科学技術大学院大学 特任教授 内田 史彦氏

② パネルディスカッション

パネリストに、特別講演の講師のほか4名のパネリストを加え、能登半島地震からの復興に向けて、地域の産学官金それぞれが果たしていくべき役割について熱い議論を交わしました。

③ 学生ビジネスアイデアコンテスト (M-BIP) 最終審査

全国から集まったファイナリストの学生達が審査員を前に、プレゼンテーション及び質疑応答に臨みました。

④ パネル展示 192ブース

北陸を中心に全国から集まった企業団体によるパネル展示や1分間プレゼンテーション Matching HUB Pitch を行いました。

⑤ 関係機関セミナー

北陸未来共創フォーラム主催の「ヘルスケア分科会 マテリアル分科会 合同セミナー」が行われました。

⑥ 「TeSH DEMO DAY 2024」

Tesh GAP ファンドプログラム「ステップ1」に採択された21のテーマのポスターセッションやプレゼンテーション TeSH Pitch を行いました。

(2) 産学官連携・交流活動の開催や助成 (491 千円)

「JAIST フェスティバル 2024」で会場設営費の助成を行いました。

(3) 機関誌『ADVANCED』の発行 (235 千円)

賛助会員、その他関係機関等に延べ514部を配布し、北陸先端科学技術大学院大学の教育研究活動の状況や支援財団の事業内容等について情報提供を行いました。

Ⅲ 公益目的事業3

学生に対する奨学資金助成事業及び奨学生選考審査委員会の開催

1 奨学資金助成 1件 180千円

優秀な学生確保と北陸3県への科学技術者の定着を目的として、奨学資金を助成しました。

《一般枠》新規 1名（博士前期課程1年）

合計 1名

2 奨学生選考審査委員会の開催

令和6年7月に奨学生選考に関する選考審査（奨学生選考審査委員5名による書面選考）を行い、一般枠新規1名の「採用」を決定しました。

<管理部門>

I 理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会・評議員会を開催しました。

《 理 事 会 》 7回開催

第83回(書面)

- ・開 催 日 令和 6年 4月 4日
- ・決議があった日 令和 6年 4月15日
- ・決 議 事 項 第1号議案 「第51回評議員会の招集」について
第2号議案 「選考委員会委員の選出」について
第3号議案 「奨学生選考審査委員会委員の選出」について

第84回(書面)

- ・開 催 日 令和 6年 5月22日
- ・決議があった日 令和 6年 5月30日
- ・決 議 事 項 第1号議案 「令和5年度事業報告及び決算」について
第2号議案 「第52回定時評議員会の招集」について

第85回

- ・開 催 日 令和 6年 6月20日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・報 告 事 項 「理事長及び専務理事の職務の執行状況」について

第86回(書面)

- ・開 催 日 令和 6年 7月 4日
- ・決議があった日 令和 6年 7月16日
- ・決 議 事 項 第1号議案 「第53回定時評議員会の招集」について

第87回(書面)

- ・開 催 日 令和 6年 9月 6日
- ・決議があった日 令和 6年 9月12日
- ・決 議 事 項 第1号議案 「個人情報保護方針」及び「個人情報管理
規程」の整備について

第88回(書面)

- ・開 催 日 令和 7 年 2 月 7 日
- ・決議があった日 令和 7 年 2 月 13 日
- ・決 議 事 項 第1号議案 「第54回評議員会の招集」について

第89回

- ・開 催 日 令和 7 年 3 月 18 日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決 議 事 項 第1号議案 「令和6年度事業計画の一部変更」について
第2号議案 「令和7年度事業計画及び収支予算並びに
資金調達及び設備投資の見込み」について
- ・報 告 事 項 「理事長及び専務理事の職務の執行状況」について

《 評議員会 》 4回開催

第51回(書面)

- ・開 催 日 令和 6 年 4 月 15 日
- ・決議があった日 令和 6 年 4 月 26 日
- ・決 議 事 項 第1号議案 「評議員の選任」について

第52回(定時)

- ・開 催 日 令和 6 年 6 月 20 日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決 議 事 項 第1号議案 「議事録署名人の選出」について
第2号議案 「令和5年度決算」について
- ・報 告 事 項 「令和5年度事業報告」について

第53回(書面)

- ・開 催 日 令和 6 年 7 月 18 日
- ・決議があった日 令和 6 年 7 月 31 日
- ・決 議 事 項 第1号議案 「評議員の選任」について

第54回

- ・開 催 日 令和 7 年 3 月 18 日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決 議 事 項 第1号議案 「議事録署名人の選出」について
第2号議案 「令和6年度事業計画の一部変更」について
第3号議案 「令和7年度事業計画及び収支予算並びに
資金調達及び設備投資の見込み」について
第4号議案 「理事及び監事の選任」について

「附属明細書」

事業における重要な事項は令和6年度事業報告書に記載されており、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項は、特に無い。

令和 7年 5月